

# リケンテクノス株式会社

## 2012年3月期

### 決算説明会

2012年5月21日

**社名**                    **リケンテクノス株式会社**

---

**設立年月日**        **1951年（昭和26年）3月30日**

---

**資本金**                **85億14百万円**

---

**代表取締役**        **清水 浩**

---

**従業員数**            **759名**

---

**本社所在地**        **東京都中央区日本橋本町3丁目11番5号**

- 決算概況について
- 今後の展開について
- 中期経営計画について
- 株主還元について

# 決算概況について

# トピックス

2011年6月	理元（上海）貿易有限公司設立
2011年7月	RIKEN ELASTOMERS THAILAND CO., LTD.設立
2011年10月	タイ大洪水発生。RIKEN (THAILAND) CO., LTD.被災、全面稼働停止 PT. RIKEN INDONESIAにて新たに工業用地取得
2012年2月	RIKEN (THAILAND) CO., LTD.稼働再開
2012年3月	三井化学ファブロ株式会社の株式譲渡契約締結 10月1日に株式引渡予定
2012年4月	ソリューション事業部発足

# 2012年3月期の要約①

## 1. 原材料価格の高騰による収益悪化

期初からの原材料価格高騰と製品価格転嫁遅れで収益悪化。



## 2. ゼオン化成からの事業買収

売上高 約20億円増。 内製化による収益改善中。

## 3. 円高

世界的景況感不透明な中、超円高。中国・韓国メーカーの攻勢。

## 4. 自然災害

- ①東日本大震災
- ②タイ洪水

## 2012年3月期の要約②

単位：百万円、円

科目	2012年 3月期	2011年 3月期	前期比	増減率	2012年3月期 業績予想	達成率
売上高	75,222	73,356	+1,866	+2.5%	75,000	100.3%
売上総利益	9,913	10,721	▲807	▲7.5%	—	—
営業利益	2,353	3,462	▲1,108	▲32.0%	1,900	123.9%
経常利益	2,496	3,512	▲1,016	▲28.9%	1,900	131.4%
当期純利益	1,964	2,063	▲99	▲4.8%	1,950	100.7%
1株当り利益	32.32	33.30	▲0.98	▲2.9%	32.26	100.2%

# 2012年3月期の要約③

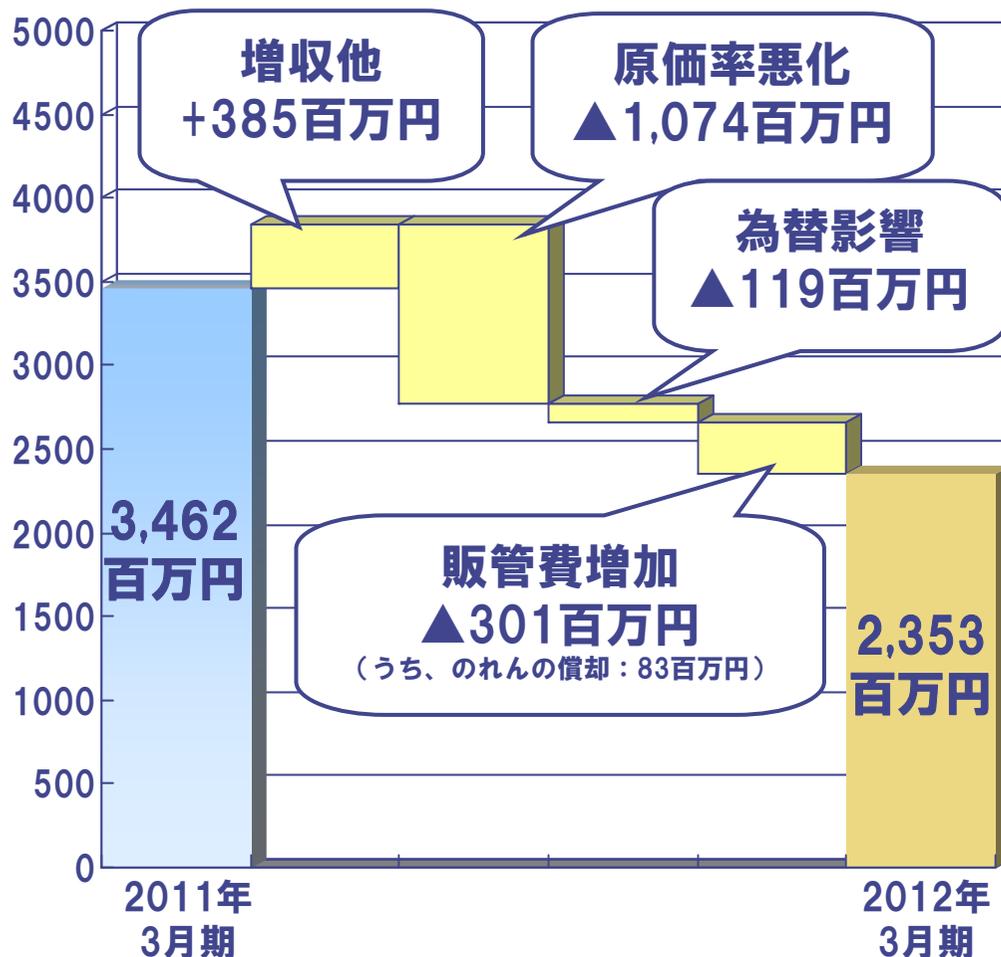
単位：百万円

科 目	リケンテクノス	その他国内	アジア	欧米	消去	計
<b>2012年3月期</b>						
売上高	49,165	7,386	17,147	8,262	▲6,739	75,222
営業利益	894	215	1,153	55	34	2,353
<b>2011年3月期</b>						
売上高	46,819	6,886	17,167	8,312	▲5,829	73,356
営業利益	1,517	155	1,588	187	13	3,462
<b>前期比較</b>						
売上高	+2,346	+500	▲20	▲49	▲910	+1,866
営業利益	▲622	+60	▲435	▲132	+21	▲1,108

# 営業利益の増減要因分析

## 営業利益

**1,108百万円減** 前期比32.0%減



原材料価格の高騰とタイ関連子会社の操業停止による減益影響大。

また、円高と海外メーカーの攻勢を受け、フィルム事業の収益が悪化。

# 連結貸借対照表

現預金等 ▲1,055  
 売上債権 +2,184  
 有形固定資産+613  
 のれん +321  
 ソフトウェア+427

## 資産合計

**62,015** 百万円

前期末比 2,822百万円増

流動資産 37,748百万円

固定資産 24,267百万円

## 負債合計

**26,751** 百万円

前期末比 1,963百万円増

流動負債 22,611百万円

固定負債 4,140百万円

仕入債務 +576  
 未払金（設備等）  
 +441  
 借入金等 +313  
 繰延税金負債  
 +370

## 純資産合計

**35,264** 百万円

前期末比 859百万円増

# 連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

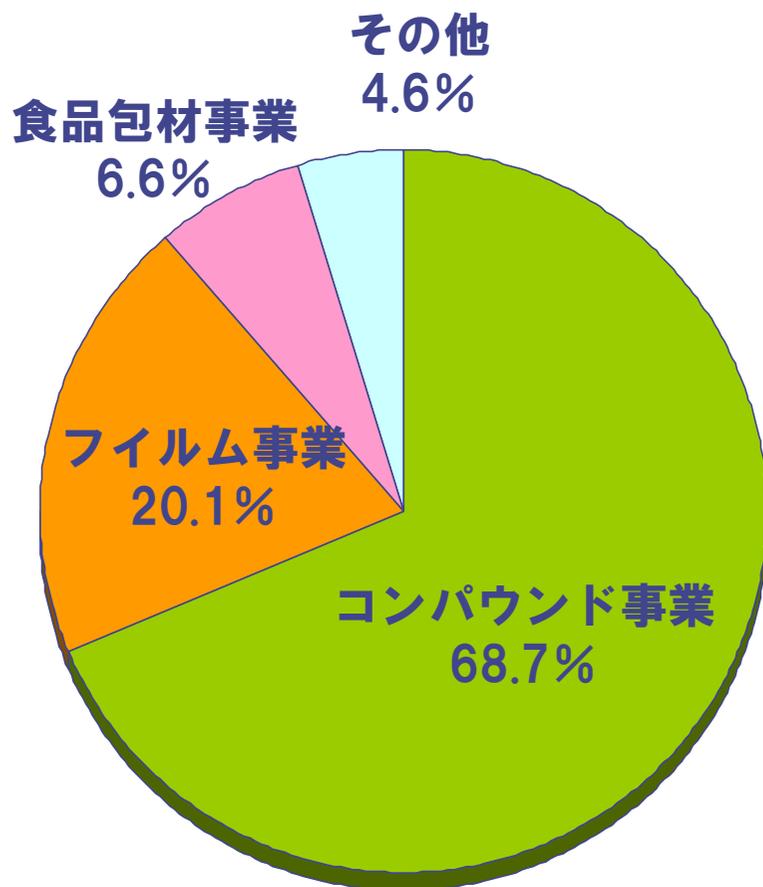
科 目	2012年 3月期	2011年 3月期	前期比	増減率
営業キャッシュ・フロー	2,407	4,966	▲2,559	▲51.5%
投資キャッシュ・フロー	▲2,778	▲2,341	▲436	▲18.6%
財務キャッシュ・フロー	▲714	▲1,029	+314	—
現金同等物の増減額	▲1,262	1,453	▲2,715	—
現金同等物の期末残高	7,677	8,939	▲1,262	▲14.1%

営業CF：売上の増加及び期末日休日につき売掛債権が増加。

投資CF：設備投資は増加する一方、土地を売却。事業買収による  
キャッシュアウト550百万円。

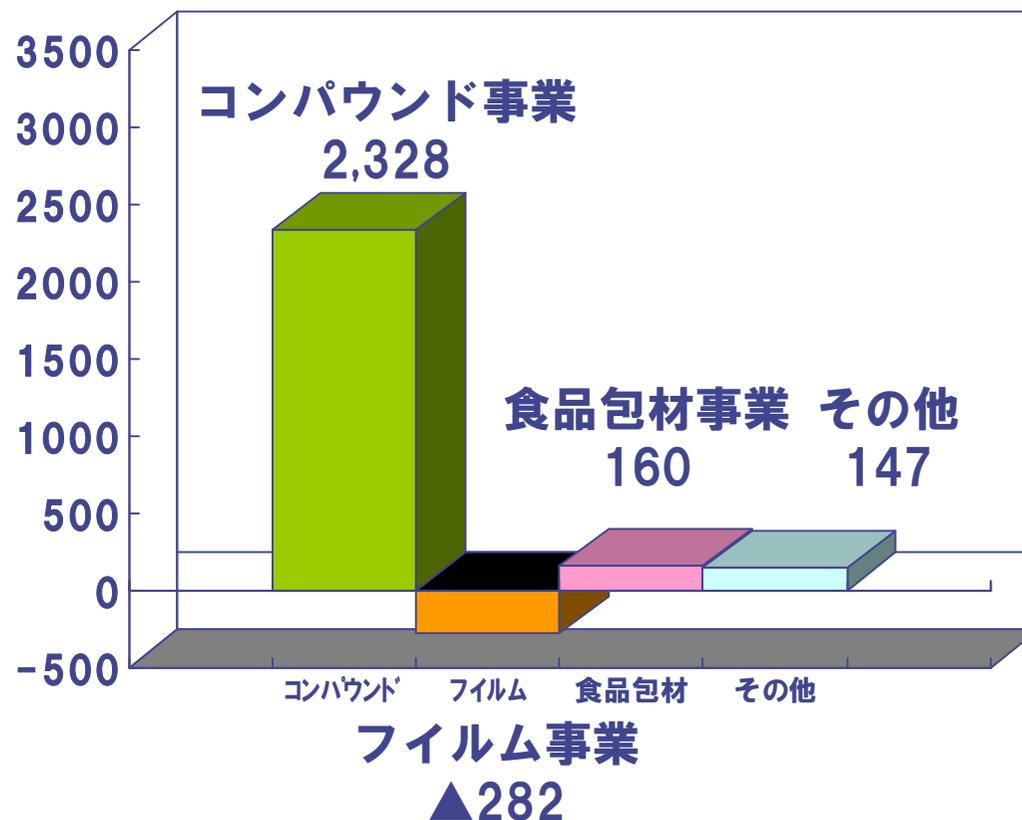
# セグメント別売上高構成比及び利益

2012年3月期  
売上高 752億円

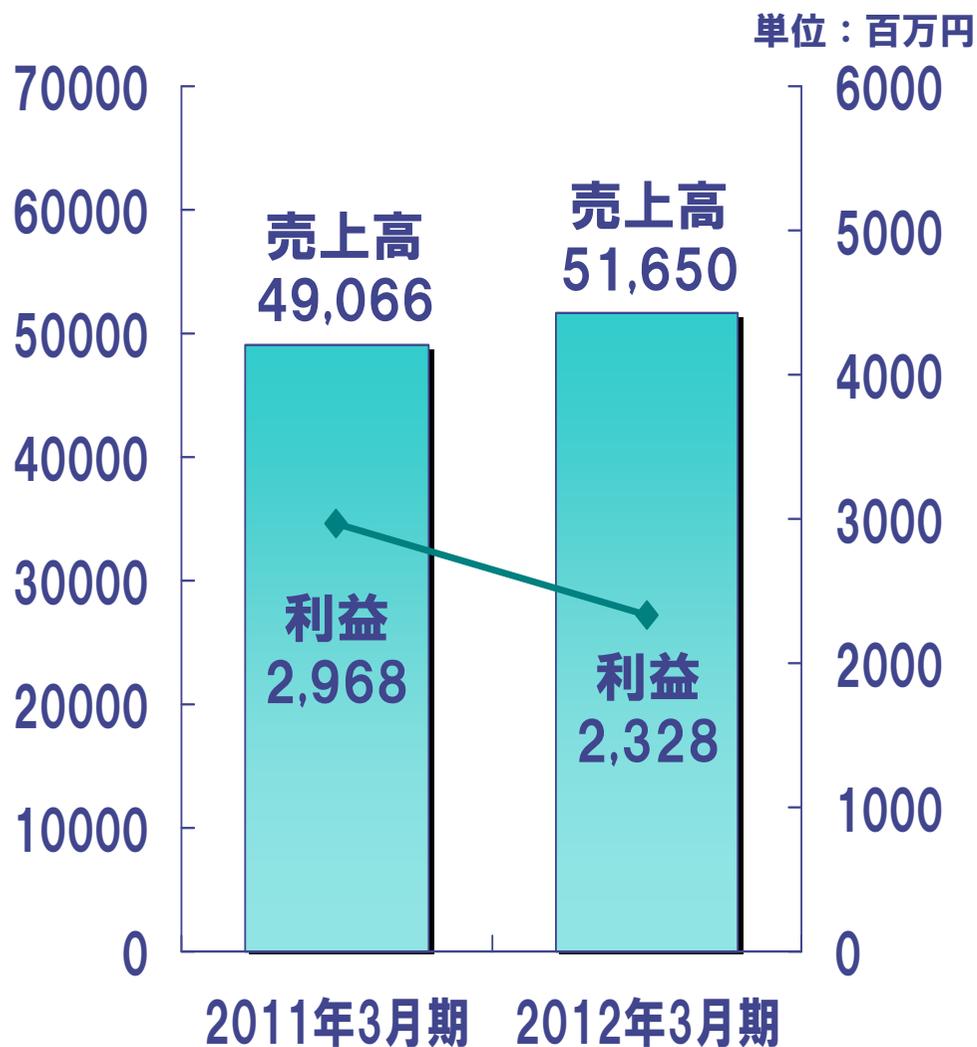


2012年3月期  
セグメント利益 24億円

単位：百万円



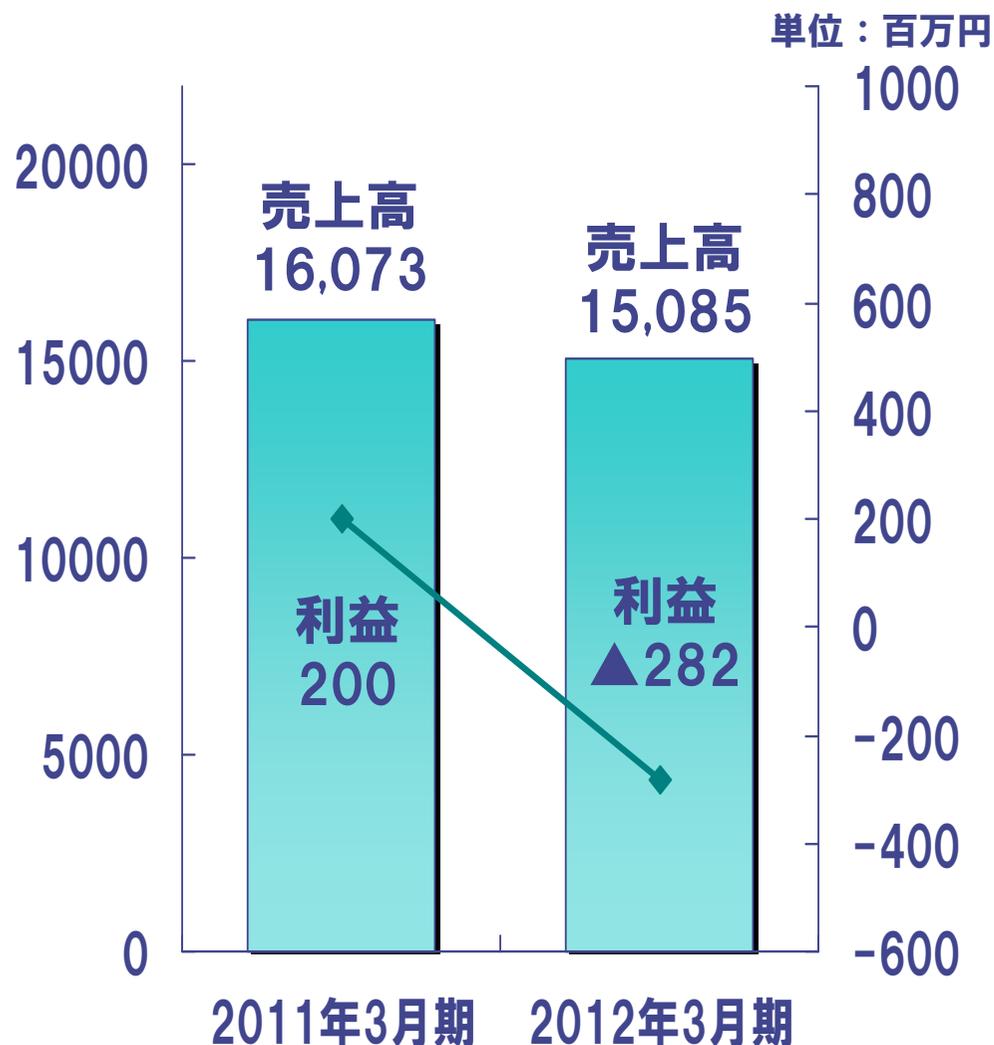
# コンパウンド事業



**2,585**百万円増収 **640**百万円減益  
 前期比5.3%増 前期比21.6%減

タイ国洪水により被害を受けるもグループ全体でフォロー。ゼオン事業買収効果も合わせ増収。利益は原料価格の上昇により減益。

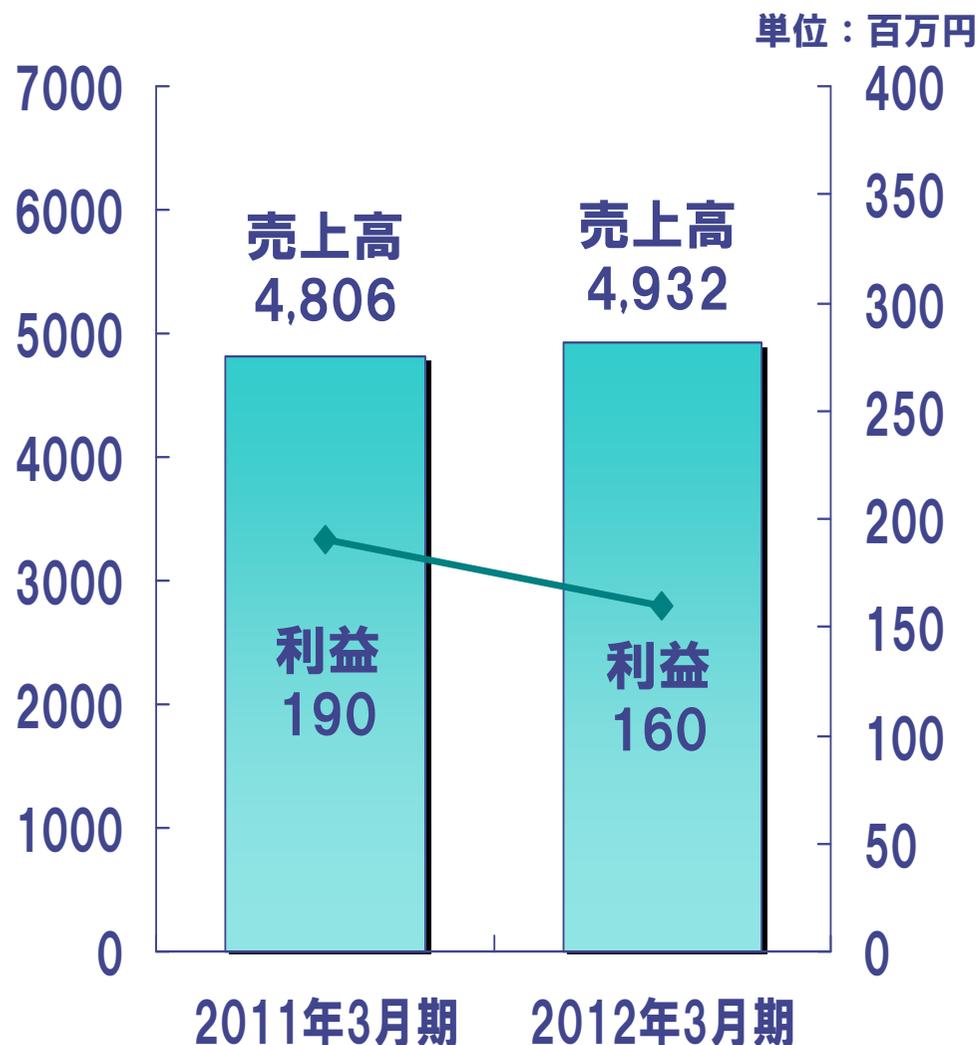
# フィルム事業



**988**百万円減収 **482**百万円減益  
前期比6.1%減

国内建材市場に底打ち感が見られるものの、テレビ需要の急激な落ち込み、円高の長期化及び原材料価格の高騰を受け減収減益。

# 食品包材事業



**126百万円増収**      **30百万円減益**  
 前期比2.6%増      前期比16.0%減

国内市場は安定的。利益は原料価格上昇に伴い減益。懸案の中国事業は売上は堅調だが収益に課題。

# 今後の展開について

# 中期経営計画の目標達成

行動改革 『まずチャレンジ』

意識改革 『必ずやりきる』

# 2013年3月期の業績予想

単位：百万円、円

科 目	2013年3月期 業績予想	2012年 3月期	伸び率	中期計画	達成率
売上高	78,000	75,222	+3.7%	80,000	97.5%
営業利益	2,600	2,353	+10.5%		
経常利益	2,700	2,496	+8.2%	5,000	54.0%
当期純利益	1,750	1,964	▲10.9%		
1株当たり利益	28.96	32.32	▲10.4%		

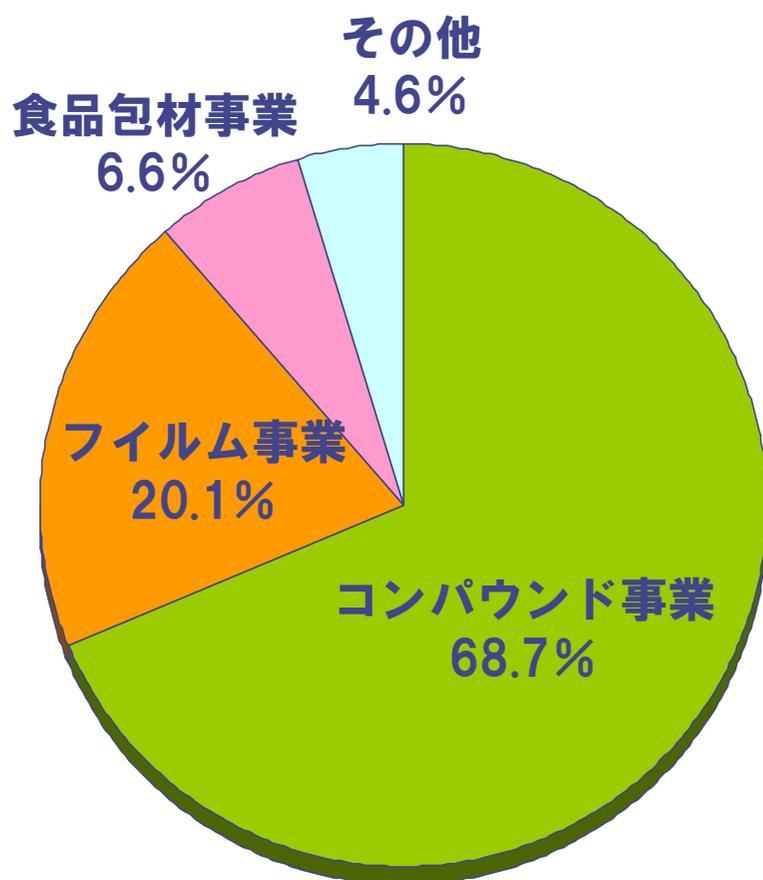
## 【業績予想】

国内外の景況感に大きな改善はない中で、設備増強の進んだ中国・インドネシアにおける増収を見込む。

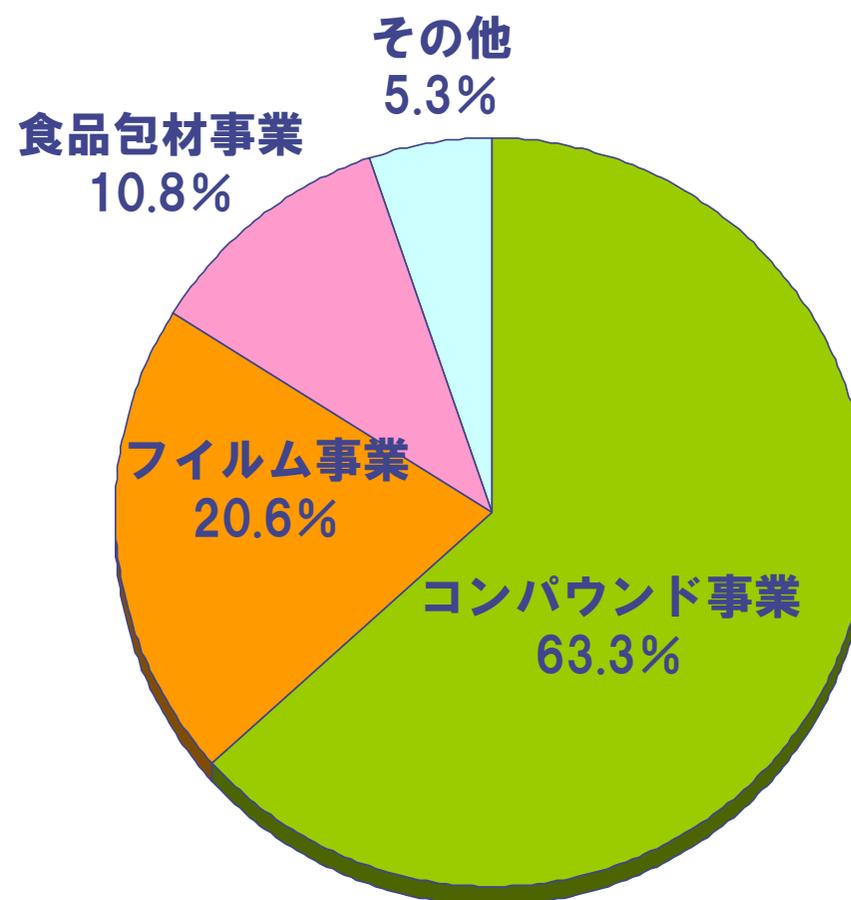
一方、リケンタイランドの被災の影響もあり、企業買収分35億円の増収を織り込んだものの、全体で30億円程度の増収に留まる。

# セグメント別業績予想 (売上高構成)

2012年3月期  
売上高 752億円



2013年3月期 業績予想  
売上高 780億円

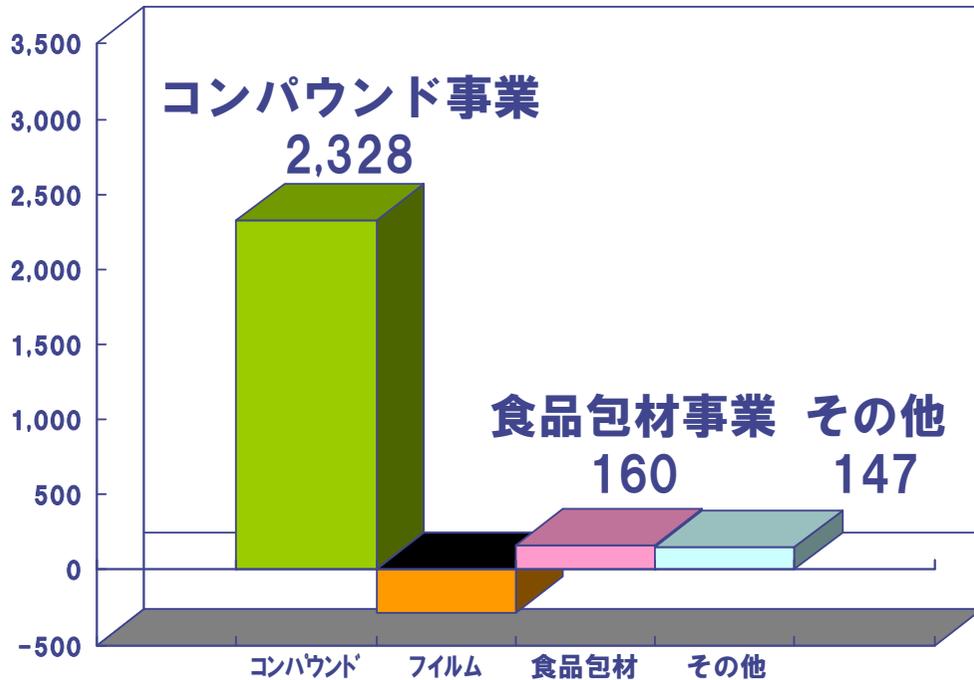


# セグメント別業績予想（利益）

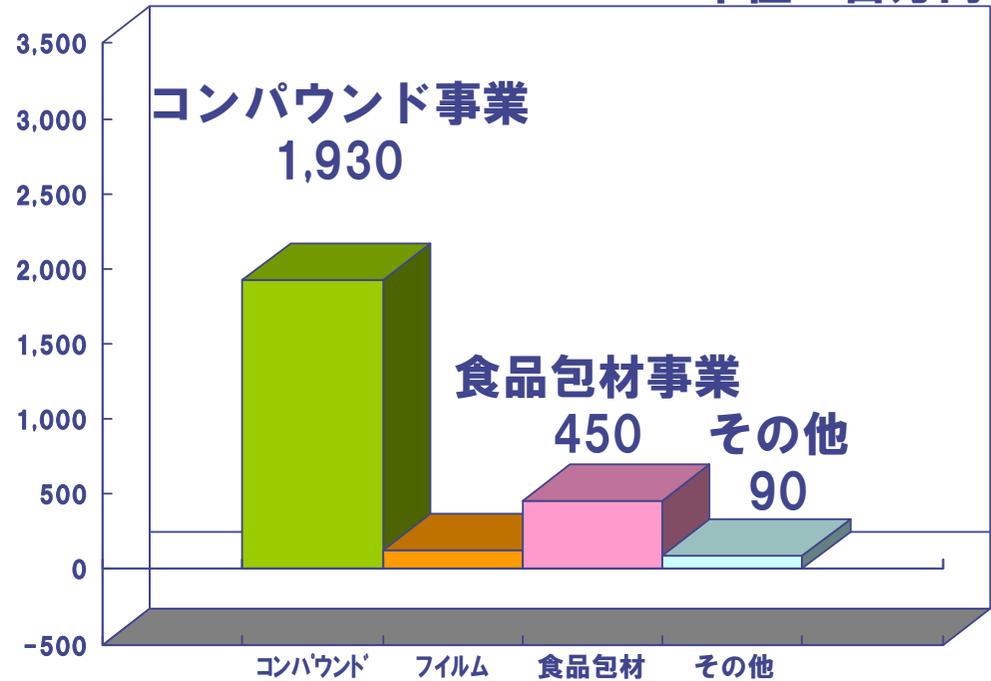
2012年3月期  
セグメント利益 24億円

2013年3月期 業績予想  
セグメント利益 26億円

単位：百万円



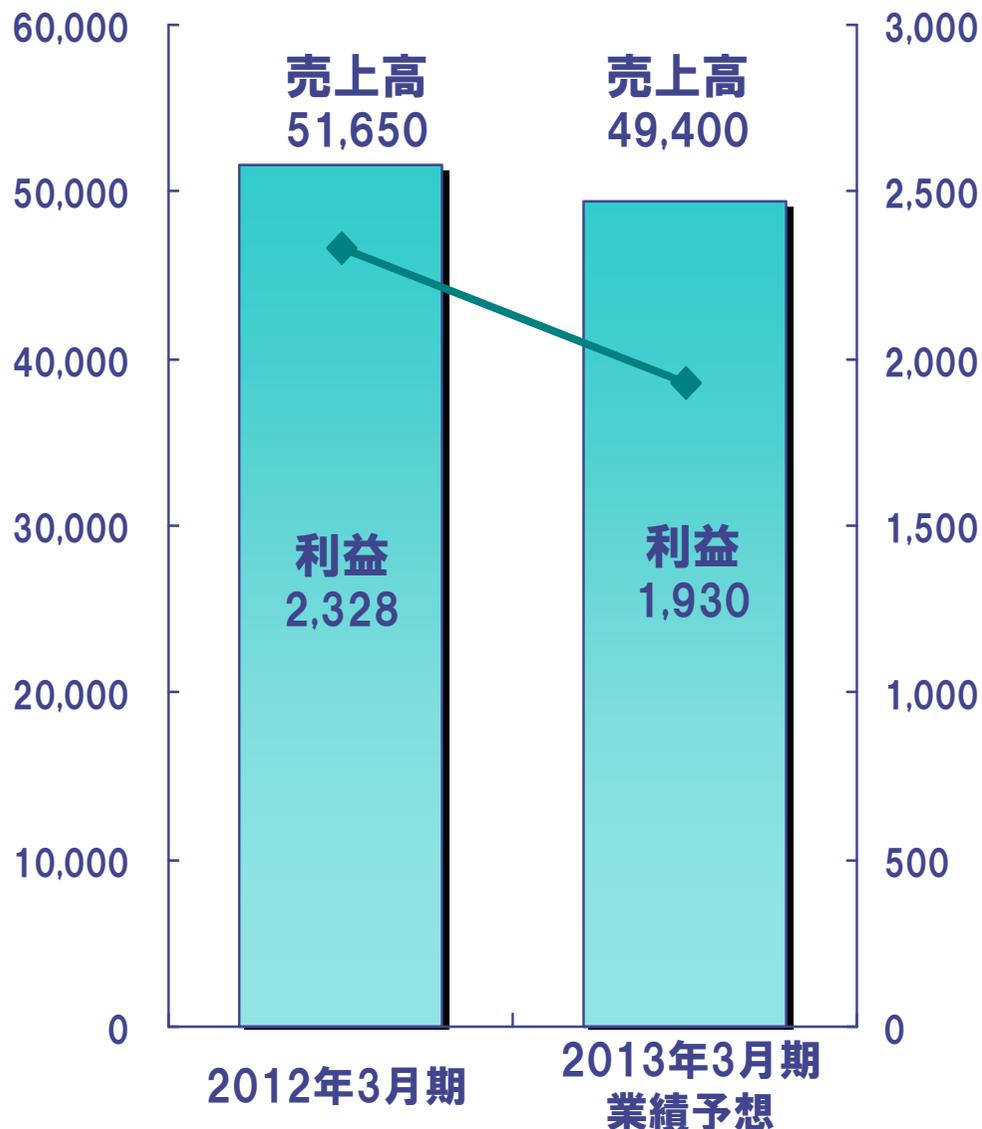
フィルム事業  
▲282



フィルム事業  
130

# コンパウンド事業の計画

単位：百万円



**2,250**百万円減収 **398**百万円減益  
 前期比4.4%減 前期比17.1%減

## 方針

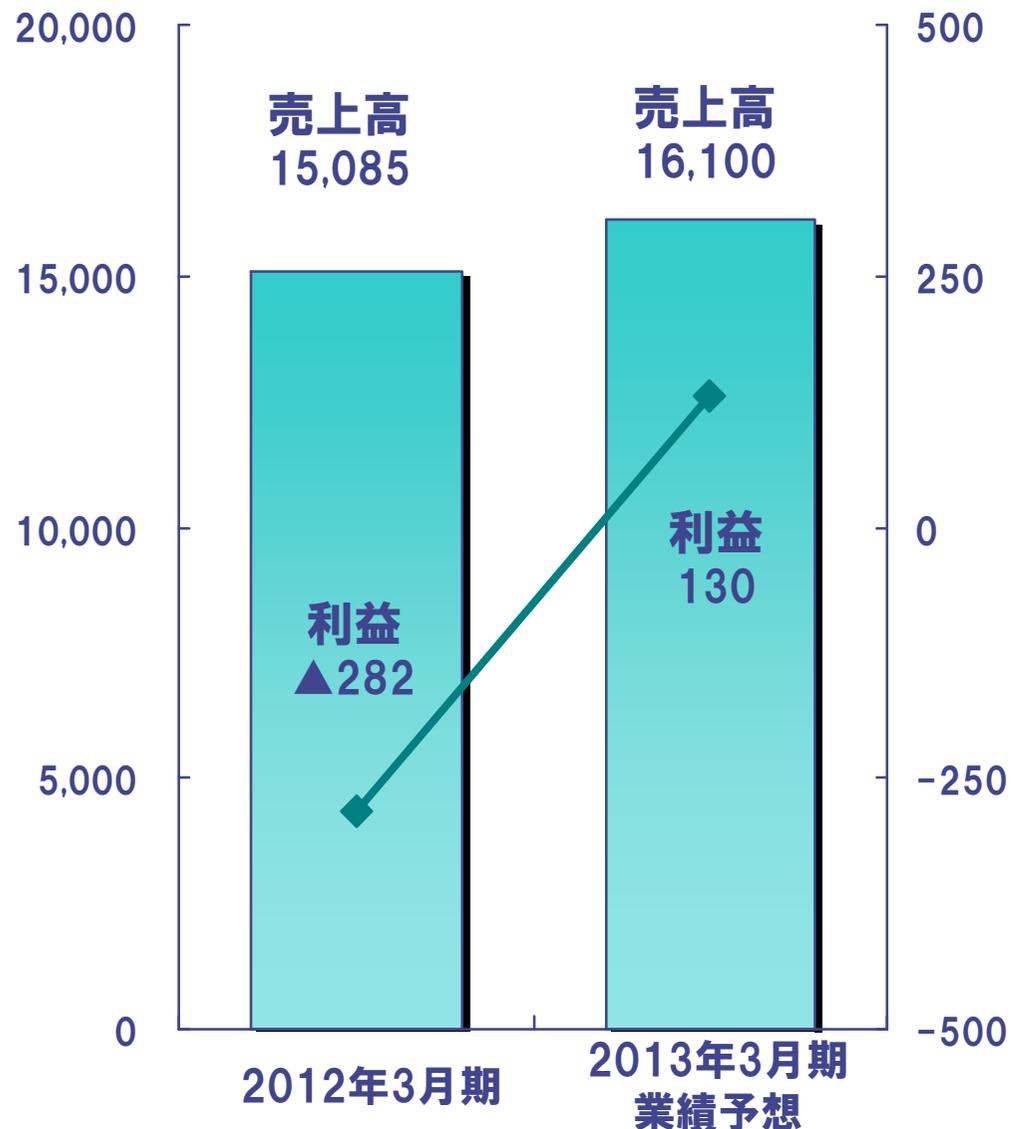
収益改善（スピード2倍・コスト1/2）

アジアでの強化

リケンタイランドの業績影響するが、  
 年度後半には商権奪回。  
 小型車・エコカー向けは拡販期待。  
 期央より復興需要見込む。

# フィルム事業の計画

単位：百万円



**1,015百万円増収 412百万円増益**  
前期比6.7%増

## 方針

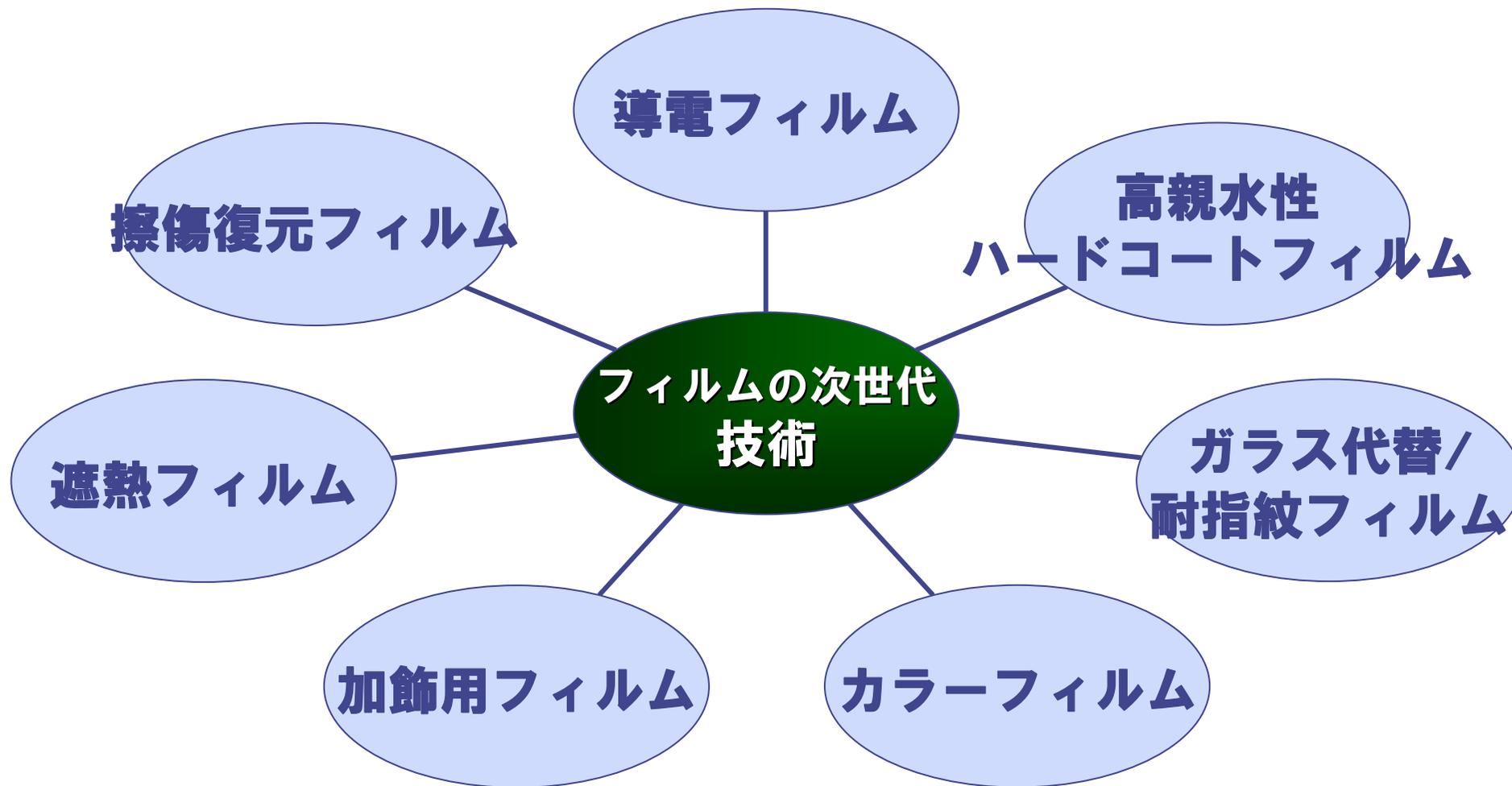
事業再構築の実行

海外生産検討

事業環境厳しいが、新たなる取り組みとして自動車市場での横展開に期待。

生産集約による製造固定費の削減を継続し、強い収益構造を整備。積極的な事業再構築を行う。

## フィルムの次世代技術のご紹介



## 加飾用フィルム（自動車内装用）

インパネ等、内装に採用されています。

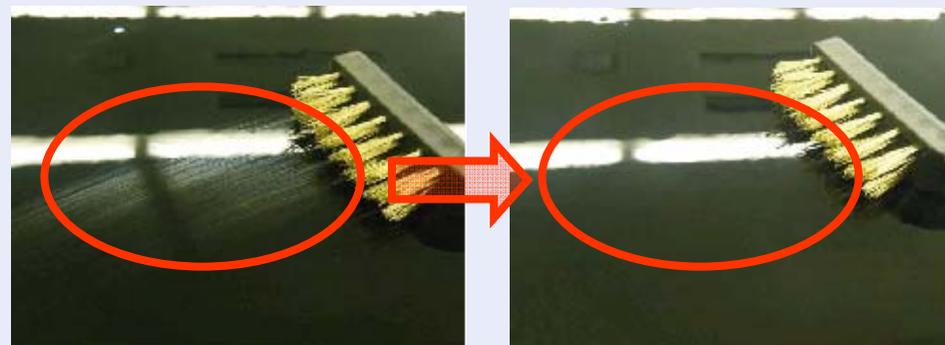


## 擦傷復元フィルム

### KIZUCURE

- 表面の擦り傷を自己復元。
- しなやかな成形性・意匠性を持ちながら傷に強い特徴を持つ。
- ベース樹脂は、PET、PVC、ポリオレフィン、ウレタンなど。

□用途： 建築内装材、等



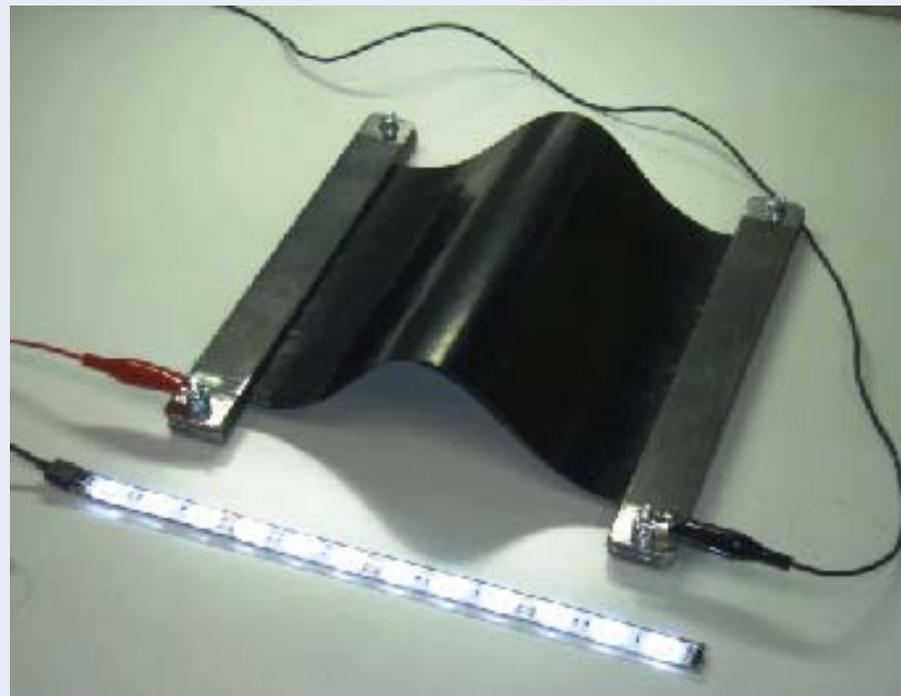
真鍮ブラシによる擦り傷が、  
時間と共に消失します。

## 導電フィルム

- フィルム全体に導電性能を付与。
- スクラッチ、変形に対し、安定的な導電性を維持。
- ベース樹脂は、お客様のご要望により最適な樹脂で検討いたします。

□開発領域：低体積低効率  
( $<1.0\Omega \cdot \text{cm}$ )

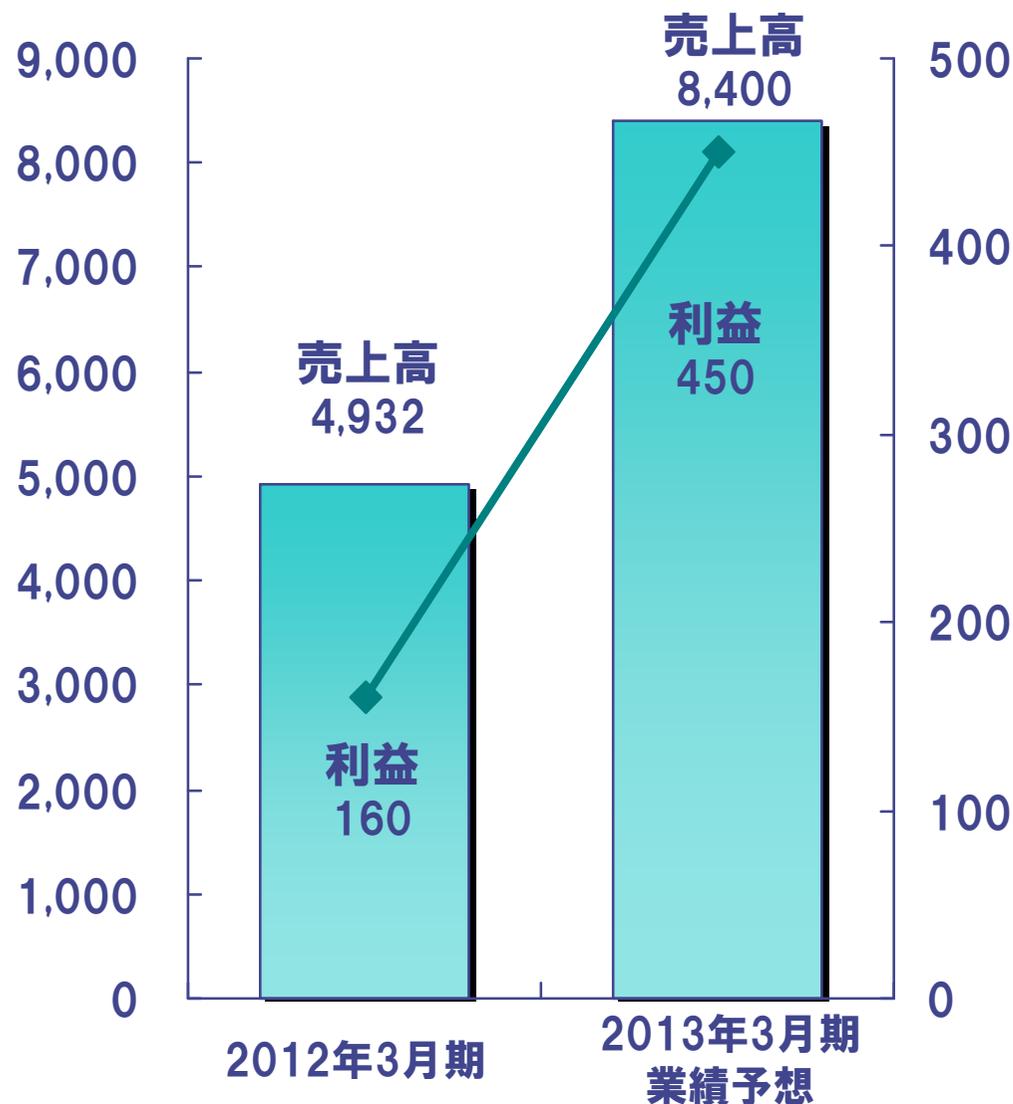
□用途： OA機器パッケージ  
電磁波シールド



LED点灯実験

# 食品包材事業の計画

単位：百万円



**3,468**百万円増収 **290**百万円増益  
 前期比70.3%増 前期比181.3%増

## 方針

三井化学ファブロの買収による  
事業再編

三井化学ファブロ買収で増収増益。  
 中国関連子会社からの輸入は好調、  
 さらなる品質向上に注力。

## リケンファブロ株式会社

<b>事業買収 目的</b>	食品包材事業の安定的な発展のため
<b>効果</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>① 原材料調達から販売にいたるまでの有効なシナジー効果が見込まれる。</li><li>② さらなるアジア展開が図れる。</li></ul>
<b>計画</b>	売上高 110億円（単純合算） ラップ、アルミホイル、ゴミ袋、クッキングシートを扱う。

# 中期経営計画について

# 中期経営計画について

## 計数目標

	売上高	経常利益
目標	800億円	50億円
今期予想	780億円	27億円

## 中期経営計画の主要テーマ

### ①体質の改善

業務プロセス管理を含めた業務改革と人材育成

### ②高機能製品事業の拡大

### ③高収益化に向けた改革

技術・製造・営業が一体となって顧客のニーズに応える

### ④全事業のグローバル化

成長・拡大する地域でビジネスチャンスを確実に捕捉する体制

## 主な施策とこれまでの成果

### 1. コンパウンド

供給能力の大幅アップ⇒将来への確実な布石

①インドネシア（PT.リケンインドネシア）

- 設備増強 453百万円（2011年2月稼働）
- 土地取得 215百万円（2011年10月取得）
- 設備増強（新工場） 詳細検討中（2013年春完成予定）

②中国（上海理研塑料有限公司）

- 設備増強 566百万円（2011年10月稼働）

③タイ（リケンエラストマーズタイランド）

- 新会社設立（設備増強） 1,423百万円（2012年末完成予定）

④ゼオン化成事業買収 550百万円

## 主な施策とこれまでの成果

### 2. フィルム

- ①選択と集中 生産集約によるコスト削減  
営業生産性の向上
- ②テストコーターの導入

### 3. 食品包材

三井化学ファブロの企業買収

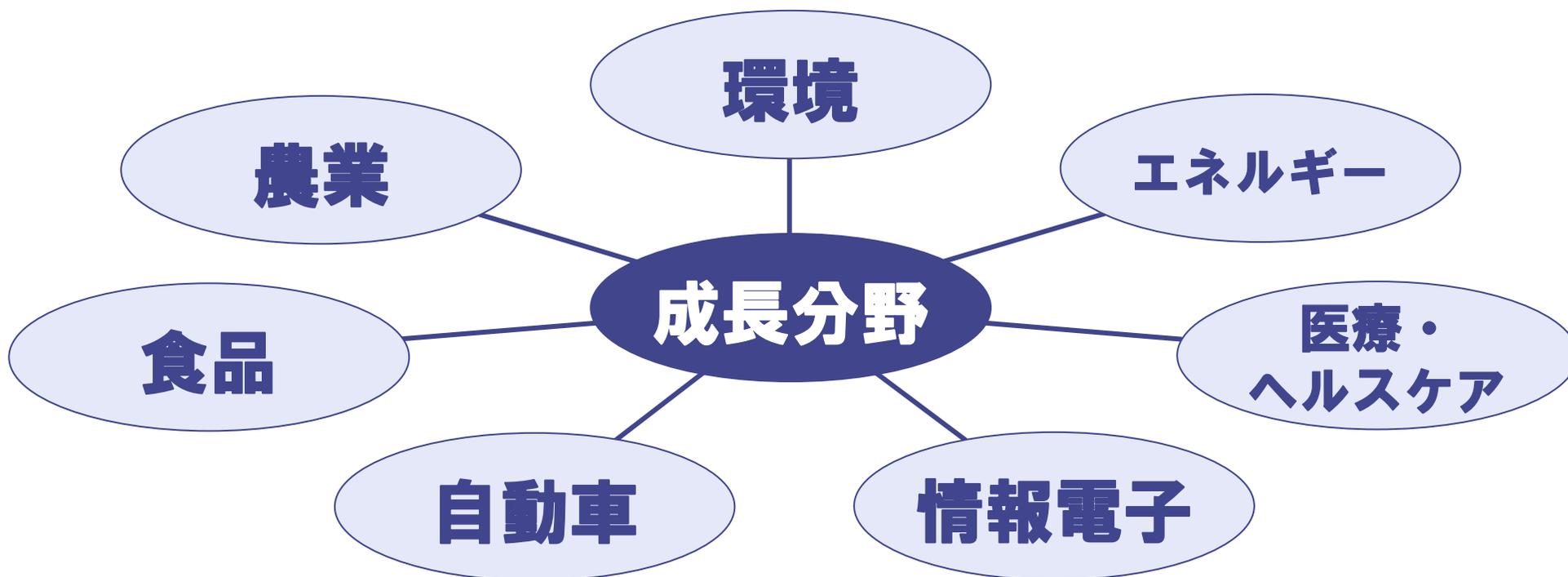
### 4. ソリューション事業への取り組み

高機能製品事業の拡大

### 5. その他

業務改革の実現 ⇒ 新基幹システムの導入

## 徹底的な「マーケットイン」



# 株主還元

## 配当金

### 安定配当

(円、%)

	中間	期末	通期	配当性向	株主資本 配当率
2009年3月期	4.00	2.00	6.00	-	1.30
2010年3月期	3.00	3.00	6.00	27.6	1.24
2011年3月期	4.00	4.00	8.00	24.0	1.60
2012年3月期	4.00	5.00	9.00	27.8	1.71
2013年3月期 (予想)	4.00	5.00	9.00	31.1	1.71

※2013年3月期（予想）における配当性向及び株主資本配当率は、3月末現在で把握可能な数値にて試算しております。

## ミッション

私たちは科学の力で  
豊かさ、安心、快適を創り出す  
チャレンジメーカーです  
独創的で卓越した  
樹脂素材の配合加工技術で  
企業と人と社会に  
新たな価値と喜びを提供し続けます

# 免責事項

---

本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

## お問い合わせ先

[webmaster@rikentechnos.co.jp](mailto:webmaster@rikentechnos.co.jp)

経理部 小泉